

SAK2021年度

指導者養成講習会 理論Ⅱ

質疑応答内容

(公財)神奈川県スキー連盟 教育本部

教育本部 検定委員会



午前の部

受講者の中で、二次対策を声掛けする人を指名しておくのはいかがでしょうか。パトへの連絡は県連の方になるでしょうか。怪我した本人の対策は受講者で軽々に行わないことが大切だと考えます。

⇒ 確かに事前に役割を決めておくのも有効ですね。

パトロールの連絡は行事中に必ず自由に動ける役員がおりますので、基本その役員が対応、そのほか都度適切に対応してます。

前回の講習で「スキーの歴史は自主学習の範囲です」とありましたが
自主学習の範囲は決まっているのでしょうか？どこかに載っていますか？

⇒ はい。資格検定受検者のためのP86、87をご覧ください。

シュテムターンのストックってなんの為に突くのでしょうか。体重をかける度合いを徐々に減らす指導を受けますが、
タイミングを取る為にというのが一応の答えですが。お考えをお聞きしたかったです。

⇒ 重心の移動方向、タイミングという観点で重要だと思います。

午後の部

ある程度滑走経験のある小中学生、少し規制を加えて遊びをさせながらコントロールさせることにつなげたいと思っています。スキー場に何かコンタクトとるとか資格が必要とかは有るのでしょうか？

⇒ 本格的な大会だとセッターだとか必要になるが、子供たちに遊びの延長で行うのであれば、資格は不要である。ただし、事前に規模に応じてスキー場やパトロールに相談するのが良いと思います。

谷間回りの始動で板をズラすとは、横滑りで減速することとは違い、カービングの強さ、深さを調整して、身体を斜面にあわせてターンの後半をみながらコントロールするととらえてよいのでしょうか？

⇒ ターンの前半にズラすというとき、滑りての感覚と見た目のズレがある。ターンの前半は滑りての感覚としてはスキーを動かしている考えが強いと思います。板を外側に動かしていった結果角が立ってズレが深まっていく。その辺は滑り手の感覚をビデオを使って確認するなどすると良いでしょう。

高校修学旅行で英語で指導してもらえる環境のあるスキー場はありますか？320名をさばけるところはないですね

⇒ 英語が喋れる先生が沢山必要になるので、なかなか対応は難しいのでは？最近では外人が在籍するスクールも増えているとは聞いています。今後はそのようなニーズが増えるでしょうね。